

～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～



# 4R通信（第13号）



断わる 減らす 繰り返し使う 資源化する  
『リフューズ♪リデュース♪リユース♪リサイクル』

## 冬によく出るごみの捨て方



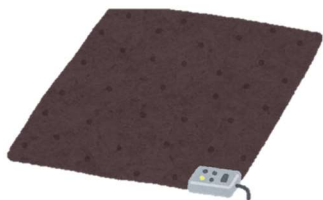
暖房器具の入れ替えや衣替えなどで冬に出やすいごみの捨て方をご紹介します。  
スムーズに分別し、早めに大掃除を終わらせましょう。

### ストーブ類



石油ストーブ・ファンヒーターやハロゲンヒーターなどを処分する場合、**資源回収ステーション**に持ち込んでいただければ無料で回収しております。  
※灯油は使い切るか、中身をすべて出してから持ち込んでいただくようにお願いします。

### カーペット類



普通のカーペットも電気カーペットも、**ゆめくりんで有料で回収**しております。手数料として10kg当たり100円をいただきます。指定袋に入る大きさでしたら「もえるごみ」として出すこともできます。資源回収ステーションでは回収しておりません。コードは切って、資源物（コード・針金類）へ。  
※焼却炉で引っかかってしまうため、ゆめくりんへは畳んでしまった状態でお持ち込みください。

### 防寒着類



セーターは**資源物**のうちの「**布類**」として回収しております。セーターはかさばり、「もえるごみ」として出すと指定袋がすぐにいっぱいになってしまいますので、資源物として出しましょう。  
また、ダウンジャケットなどの羽毛やわたが入っているものは資源になりません。「**もえるごみ**」として回収しております。

断る勇氣、減らす努力、ごみを出さないエコな生活

常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量**450g**を目標としています。





【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115



# SDGsをご存じですか？



この頃よく聞く「SDGs」とは、2015年に国連サミットで採択された、「持続可能な世界の実現のための2030年までの世界共通の目標」のことを言います。ごみの資源化・減量化を、SDGsの17のゴールに当てはめると、以下の4つが該当します。

ゴール	行動例
 ゴール2 飢餓をゼロに	●まだ食べられるけど、食べないものはフードバンク事業などに寄附する。なお、寄付は常滑市社会福祉協議会で受付けております。
 ゴール11 住み続けられるまちづくりを	●使わなくなったものは、リユース・リサイクルする。 ●生ごみを減らすため生ごみ減容機器を利用する
 ゴール12 つくる責任 つかう責任	●冷蔵庫の中のを定期的にチェックし、食材は使い切る。 ●3010運動の普及（会食時に最初の30分と最後の10分は自分の席で食事をし、食べ残しを減らす運動です。）
 ゴール14 海の豊かさを守ろう	●ポイ捨てなどが原因でプラスチックごみが海へ流出するため、「ワンウェイプラスチック」を使用しない。

**世界共通の大きな目標ですが、一人ひとり取り組んでいきましょう**

## ごみ分別アプリ

スマートフォン・タブレットからごみの分別方法や収集日が確認できます。

各ストアより「さんあ〜る」で検索するか、  
 右のQRコードを読み込んだ先からダウンロードできます。  
 ※アプリ利用料は無料ですが、通信費はご負担ください。



iPhone



Android